

家計調査

鳥取市の[家計収支編]の結果概要について

令和4年平均

(令和4年1月～12月)

令和5年3月

鳥取県令和新時代創造本部統計課

令和4年鳥取市の家計調査の結果（家計収支編）概要について

総務省統計局より「家計調査報告[家計収支編]（令和4年平均速報結果の概況）」が公表され、鳥取市分がまとまりましたのでお知らせします。

I 調査の概要

1 調査の目的

家計調査は、家計の収支を家計簿に記入してもらうことによって、国民生活における家計収支の実態を毎月明らかにすることを目的とする。また、経済施策や社会施策立案のための基礎資料を得るために行う調査で、全国の約9,000世帯に調査をお願いしている。

この調査では、学生の単身世帯等を除いた世帯を対象として行われており、統計的な方法によって一部の地域を選定し、全体を推計する方法（標本調査）を利用している。具体的には全国から168市町村を選び、選ばれた市町村内をさらに細かく分割し、調査地区を選び、その調査地区から無作為に調査世帯を選ぶ。この3段階の抽出は世帯が均等に選ばれるよう工夫されており、全国の縮図が出来上がるようになっている。

2 鳥取県の家計調査の実施状況

県内では、2市の117世帯の皆さまに毎月の家計調査に御協力いただいている。なお、次ページ「II 結果の概要」では鳥取市の二人以上の世帯の結果についてまとめている。

対象市	二人以上の世帯	単身世帯	合計
鳥取市（県庁所在市）	96世帯	8世帯	104世帯
境港市	12世帯	1世帯	13世帯
合計	108世帯	9世帯	117世帯

※境港市は、都市階級（人口5万以上の市（大都市、中都市、小都市A）、人口5万未満の市及び町村（小都市B・町村））のうちの小都市B・町村に選定され集計されている。

3 調査世帯区分

二人以上の世帯	}	勤労者世帯
		無職世帯
		勤労者・無職以外の世帯
単身世帯		

【勤労者世帯】

世帯主が会社、官公庁、学校、工場、商店などに勤めている世帯をいう。
なお、世帯主が社長、取締役、理事など会社（有限等）・団体の役員など、いわゆる使用者の立場にある世帯は「勤労者・無職以外の世帯」に含める。

【無職世帯】

世帯主が無職である世帯をいう。例えば、年金、恩給、仕送り金、保険取金、財産収入等により家計を営んでいる世帯をいう。

【勤労者・無職以外の世帯】

勤労者世帯及び無職世帯以外の世帯、例えば、世帯主が自営業者、個人経営者、使用者側の立場にある世帯をいう。

Ⅱ 結果の概要

1-1 二人以上の世帯の家計消費

○「消費支出」・・・1世帯当たり1か月平均 272,862円

前年比 1,065円減少(-0.4%)

○全国順位をみると、「教育」、「教養娯楽」の順位が低下したことにより、「消費支出」は32位から40位に低下した。

「消費支出」は、1世帯当たり1か月平均272,862円で、前年に比べ1,065円減少(-0.4%)した。

「消費支出」を10大費目別にみると、前年に比べ「光熱・水道」(15.9%)などが増加した一方、「教育」(-20.6%)、「交通・通信」(-16.7%)などが減少した。

全国順位をみると、「教育」が34位から43位に、「教養娯楽」が30位から38位に低下したことなどにより、「消費支出」は32位から40位に低下した。

表1 費目別消費支出（二人以上の世帯）

(単位:円)

項目	鳥取市						全国
	令和4年	順位 (位)	令和3年	順位 (位)	対前年 差引	対前年 増減率 (%)	令和4年
世帯人員(人)	3.03		3.01		0.02	0.7	2.91
65歳以上人員(人)	0.78		0.78		0.00	0.0	0.84
有業人員(人)	1.49		1.40		0.09	6.4	1.33
世帯主の年齢(歳)	58.7		57.8		0.9	1.6	60.1
消費支出	272,862	40	273,927	32	-1,065	-0.4	290,865
食料	69,588	44	68,847	41	741	1.1	77,474
住居	19,750	24	18,293	26	1,457	8.0	18,645
光熱・水道	25,286	20	21,818	19	3,468	15.9	24,522
家具・家事用品	10,572	40	9,899	45	673	6.8	12,121
被服及び履物	7,646	44	7,732	38	-86	-1.1	9,106
保健医療	11,638	43	11,851	41	-213	-1.8	14,705
交通・通信	46,108	11	55,356	6	-9,248	-16.7	41,396
教育	6,757	43	8,505	34	-1,748	-20.6	11,436
教養娯楽	22,670	38	22,563	30	107	0.5	26,642
その他の消費支出	52,847	31	49,065	38	3,782	7.7	54,817
エンゲル係数(%)	25.5	35	25.1	38	0.4	1.6	26.6

注1 内訳は端数処理した主要項目を掲げたため、内訳の計と合計とは必ずしも一致しない。

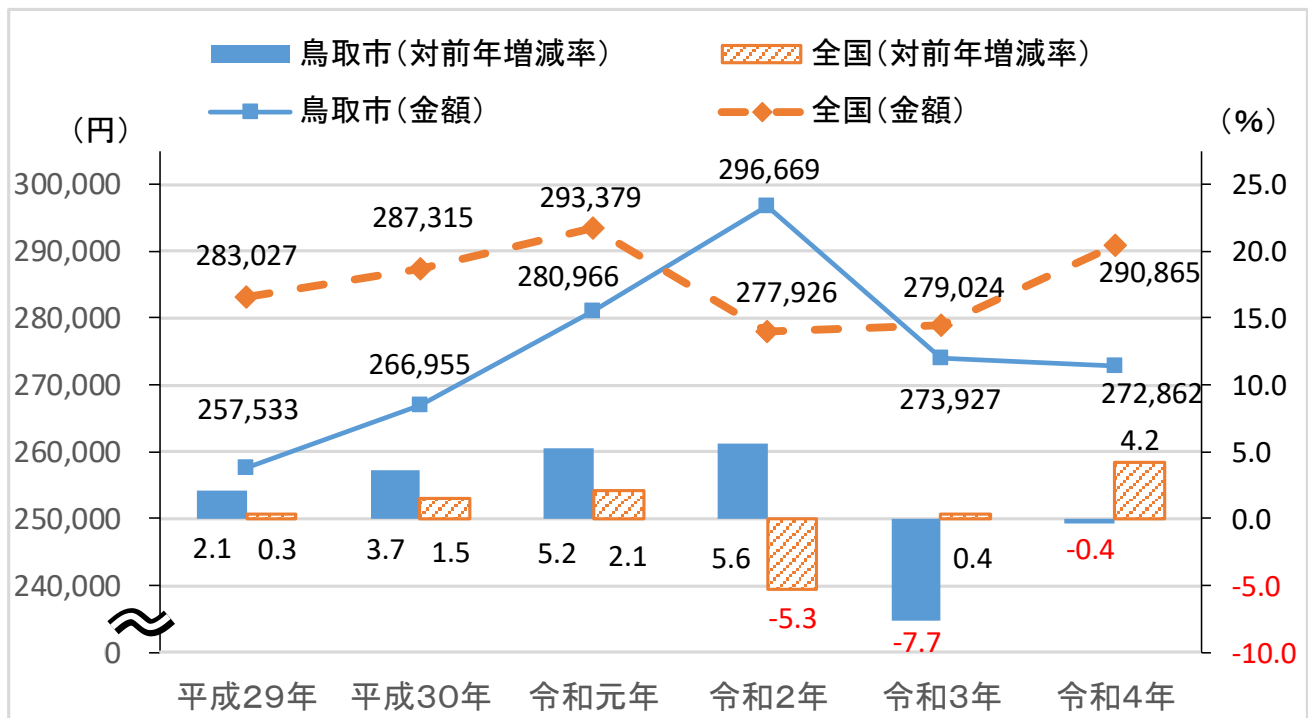
2 その他の消費支出とは、理美容関係、たばこ、交際費など。

3 エンゲル係数とは、消費支出に占める食料費の割合。

4 順位は、47都道府県庁所在市から算出。

鳥取市の消費支出（年平均）の推移をみると、令和2年までは増加傾向だったが、令和3年は減少に転じた。令和4年は、減少幅は小さくなったが、昨年引き続き減少となった。

図1 鳥取市及び全国の消費支出（年平均）における推移（二人以上の世帯）



1-2 二人以上の世帯の支出割合

○前年との比較

- ・「光熱・水道」が1.4ポイント増加した。
- ・「交通・通信」が3.3ポイント減少した。

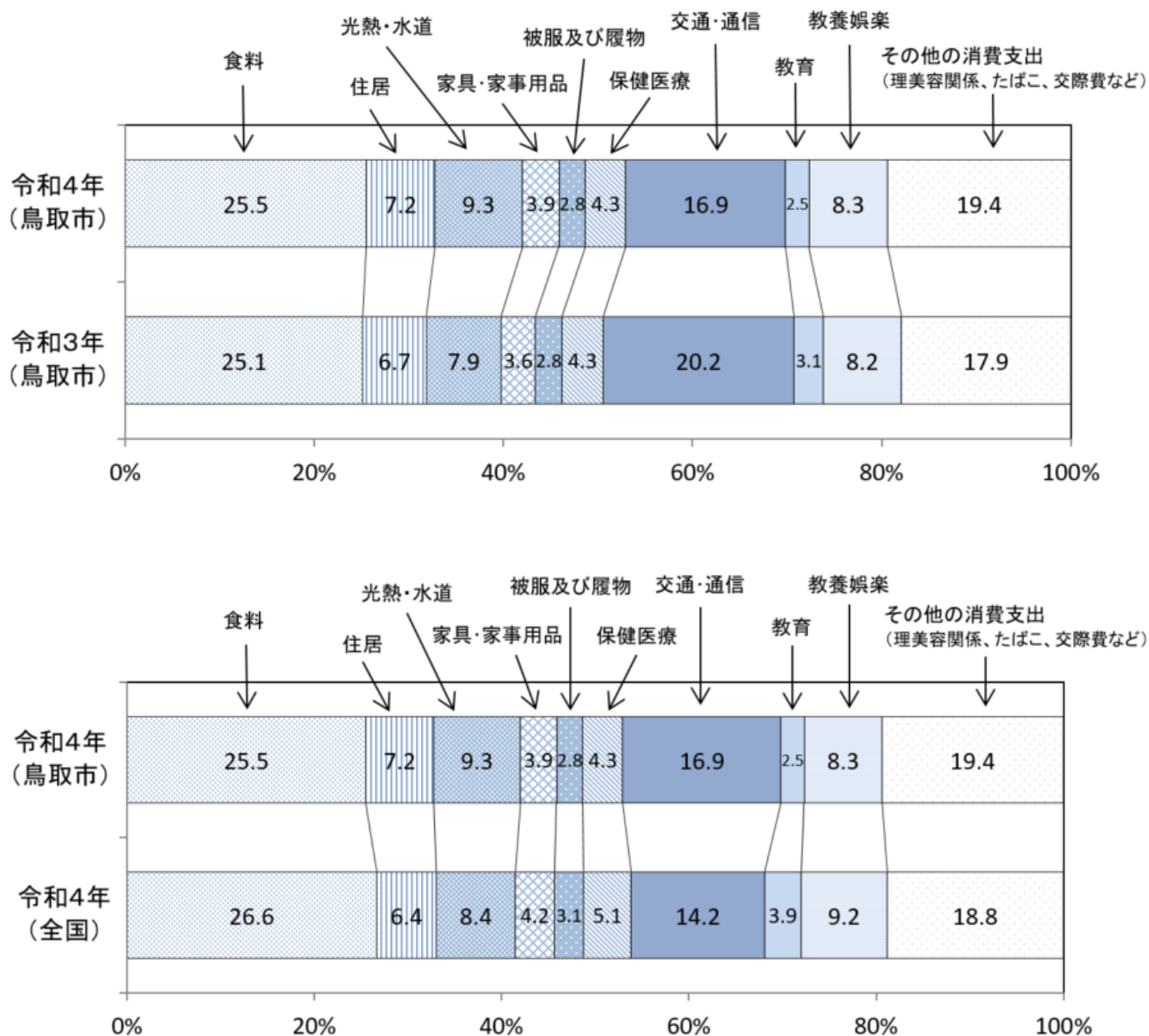
○全国との比較

- ・「交通・通信」が2.7ポイント高かった。
- ・「教育」が1.4ポイント低かった。

鳥取市の費目別消費支出の割合をみると、前年に比べ「その他の消費支出」(+1.5ポイント)、「光熱・水道」(+1.4ポイント)などが増加した一方、「交通・通信」(-3.3ポイント)、「教育」(-0.6ポイント)が減少した。

全国に比べ「交通・通信」(+2.7ポイント)が高かった一方、「教育」(-1.4ポイント)、「食料」(-1.1ポイント)などが低かった。

図2 鳥取市及び全国の費目別消費支出の割合（二人以上の世帯）



1-3 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計収支

- 「実収入」・・・1世帯当たり1か月平均 565,945円
前年比 25,216円減少(-4.3%)
- 「可処分所得」・・・1世帯当たり1か月平均 467,751円
前年比 18,912円減少(-3.9%)
- 「黒字」・・・1世帯当たり1か月平均 164,903円
前年比 12,266円減少(-6.9%)

○前年に比べ、「その他の収入」(-26.9%)、「他の世帯員収入」(-15.9%)などが減少した。

「実収入」の内訳をみると、前年に比べ、「その他の収入」(-26.9%)、「他の世帯員収入」(-15.9%)、「世帯主の配偶者の収入」(-10.7%)などが減少した。一方、勤め先収入で占める割合の高い「世帯主収入」(3.9%)は増加した。

前年に比べ「実収入」が減少したことで、「可処分所得」が18,912円減少(-3.9%)し、「黒字」は12,266円減少(-6.9%)した。

全国順位をみると、「その他の収入」が3位から25位に大きく低下し、「消費支出」は27位から36位に低下した。

表2 家計収支と内訳 (二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項目	鳥取市						全国
	令和4年	順位 (位)	令和3年	順位 (位)	対前年 差引	対前年 増減率 (%)	令和4年
							(単位:円)
世帯人員(人)	3.27		3.34		-0.07	-2.1	3.24
65歳以上人員(人)	0.32		0.25		0.07	28.0	0.28
有業人員(人)	1.91		1.88		0.03	1.6	1.79
世帯主の年齢(歳)	50.1		48.2		1.9	3.9	50.4
実収入	565,945	35	591,161	29	-25,216	-4.3	617,654
勤め先収入	510,729	37	515,599	37	-4,870	-0.9	564,011
世帯主収入	365,057	45	351,518	45	13,539	3.9	450,906
世帯主の配偶者の収入	131,029	5	146,660	2	-15,631	-10.7	97,378
他の世帯員収入	14,643	17	17,421	18	-2,778	-15.9	15,728
その他の収入	55,216	25	75,562	3	-20,346	-26.9	53,643
消費支出	302,848	36	309,494	27	-6,646	-2.1	320,627
非消費支出	98,194	38	104,498	33	-6,304	-6.0	116,740
可処分所得	467,751	35	486,663	27	-18,912	-3.9	500,914
黒字	164,903	30	177,169	24	-12,266	-6.9	180,286
エンゲル係数(%)	23.9	37	22.9	43	1.0	4.4	25.1

注1 内訳は端数処理した主要項目を掲げたため、内訳の計と合計とは必ずしも一致しない。

2 非消費支出とは、所得税、住民税、社会保険料など。

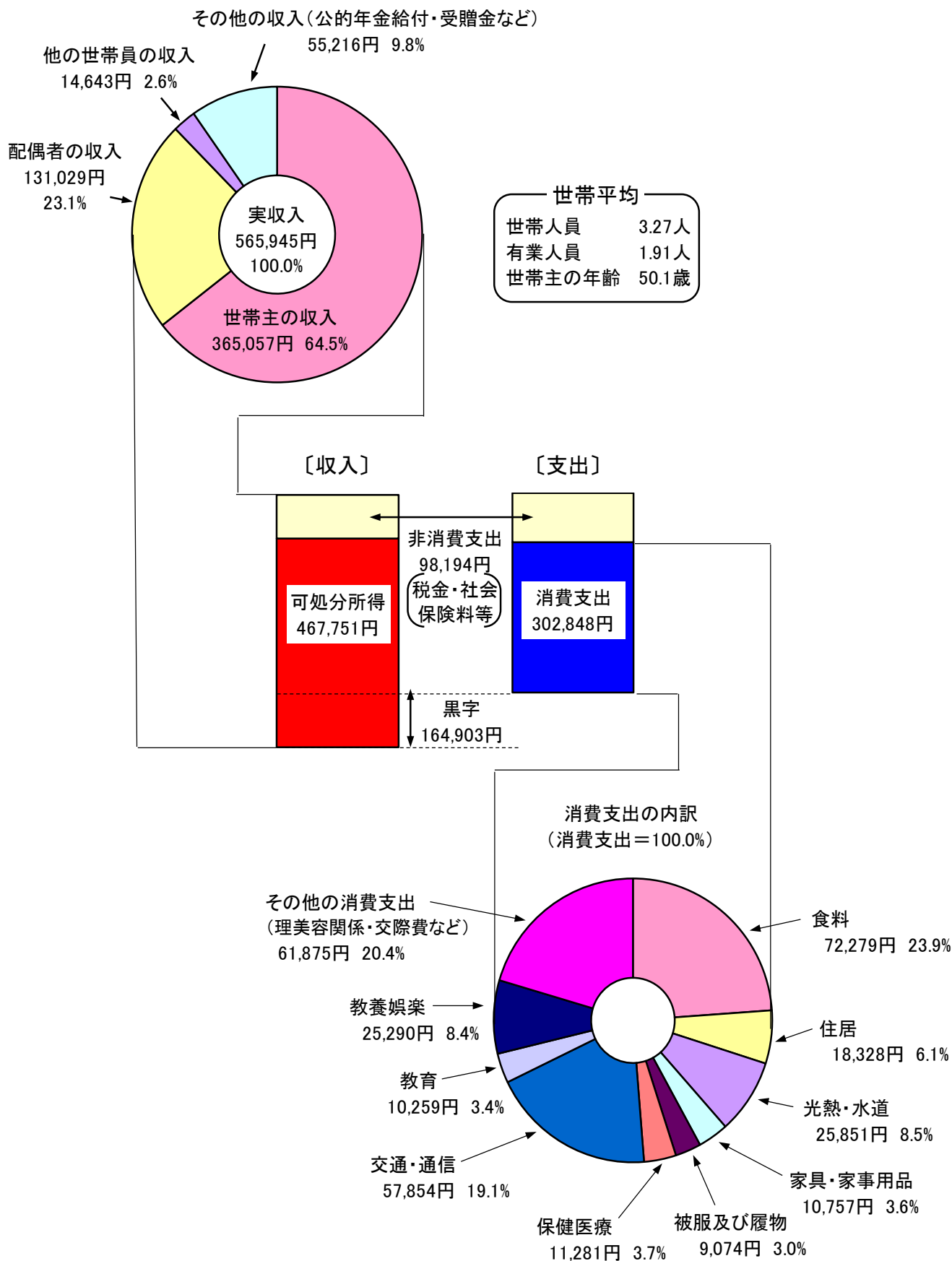
3 可処分所得とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入。

4 黒字とは、可処分所得から消費支出を差し引いた額。

5 順位は、47都道府県庁所在市から算出。

(参考図) 鳥取市の令和4年平均1世帯当たり1か月間の収入と支出

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



※ 1世帯当たり1か月間の収入とは、賞与等も含めた年間の収入を12か月で割った1か月当たりの平均値である。

(参考表) 鳥取市の1世帯当たり1か月間の収入と支出

(二人以上の世帯、二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

令和4年平均

(単位:円)

二人以上の世帯の支出			うち勤労者世帯の収入と支出		
用途分類	鳥取市	全国	用途分類	鳥取市	全国
集計世帯数(人)	92	7,341	集計世帯数(人)	54	3,986
世帯人員(人)	3.03	2.91	世帯人員(人)	3.27	3.24
有業人員(人)	1.49	1.33	有業人員(人)	1.91	1.79
世帯主の年齢(歳)	58.7	60.1	世帯主の年齢(歳)	50.1	50.4
実収入	—	—	実収入	565,945	617,654
勤め先収入	—	—	勤め先収入	510,729	564,011
世帯主収入	—	—	世帯主収入	365,057	450,906
世帯主の配偶者の収入	—	—	世帯主の配偶者の収入	131,029	97,378
他の世帯員収入	—	—	他の世帯員収入	14,643	15,728
その他の収入	—	—	その他の収入	55,216	53,643
実収入以外の受取 (預貯金引出、借入金など)	—	—	実収入以外の受取 (預貯金引出、借入金など)	392,738	451,936
繰入金	—	—	繰入金	85,621	174,247
実支出	—	—	実支出	401,042	437,368
消費支出	272,862	290,865	消費支出	302,848	320,627
食料	69,588	77,474	食料	72,279	80,502
住居	19,750	18,645	住居	18,328	20,115
光熱・水道	25,286	24,522	光熱・水道	25,851	24,421
家具・家事用品	10,572	12,121	家具・家事用品	10,757	13,000
被服及び履物	7,646	9,106	被服及び履物	9,074	11,293
保健医療	11,638	14,705	保健医療	11,281	13,708
交通・通信	46,108	41,396	交通・通信	57,854	50,688
教育	6,757	11,436	教育	10,259	18,126
教養娯楽	22,670	26,642	教養娯楽	25,290	29,737
その他の消費支出 (理美容関係、交際費など)	52,847	54,817	その他の消費支出 (理美容関係、交際費など)	61,875	59,036
非消費支出 (税金、社会保険料など)	—	—	非消費支出 (税金、社会保険料など)	98,194	116,740
実支出以外の支払 (預貯金、借金返済など)	—	—	実支出以外の支払 (預貯金、借金返済など)	574,258	652,518
繰越金	—	—	繰越金	69,004	153,952
可処分所得	—	—	可処分所得	467,751	500,914
黒字	—	—	黒字	164,903	180,286
エンゲル係数(%)	25.5	26.6	エンゲル係数(%)	23.9	25.1

注 1 内訳は端数処理した主要項目を掲げたため、内訳の計と合計とは必ずしも一致しない。

2 「二人以上の世帯」には、自営業者、無業者等を含むため収入にかかる項目の公表はない。

3 —印は、該当数字のないものを示す。

4 繰入金とは、前月から持ち越した手持ち金額で、繰越金とは、当月末における手持ち現金。

5 可処分所得とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入。

6 黒字とは、可処分所得から消費支出を差し引いた額。

7 エンゲル係数とは、消費支出に占める食料費の割合。

2 二人以上の世帯の消費支出に占める衣・食・住の割合の推移

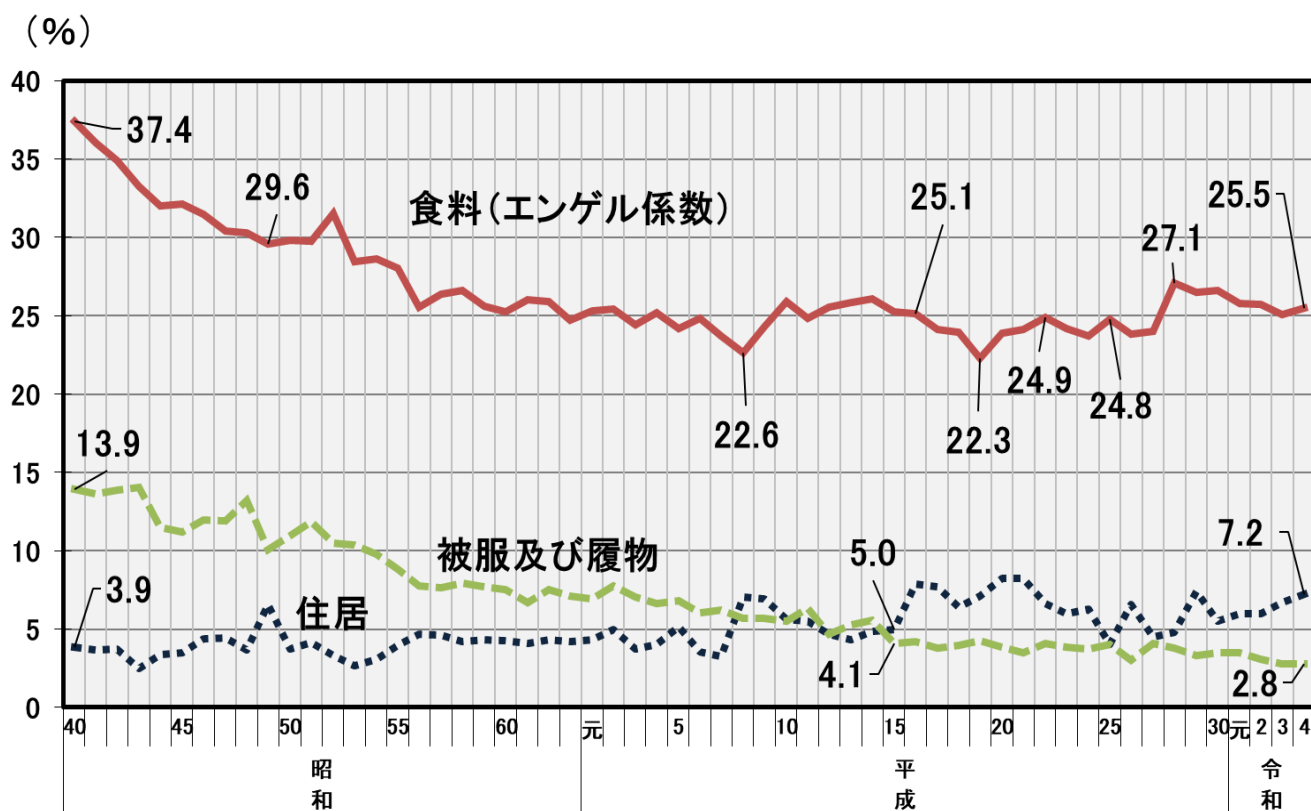
- 「食料（エンゲル係数）」・・・25.5%（前年比 0.4ポイント増加）
- 「被服及び履物」・・・2.8%（前年と同水準）
- 「住居」・・・7.2%（前年比 0.5ポイント増加）

消費支出に占める衣・食・住の割合をみると、「食料（エンゲル係数）」は昭和40年には37.4%と食費に対する割合が高かったが、生活水準の向上と共に低下が続き、昭和49年には29.6%と初めて30%を下回った。しばらく低下傾向が続き平成8年では22.6%となったが、平成9年から再び上昇、25%付近を推移した。平成17年から25%以下で推移していたが、平成28年から再び25%以上に上昇した。近年は低下傾向が続いていたが、令和4年は25.5%で前年25.1%に比べ0.4ポイント増加した。

また、昭和40年には「被服及び履物」への支出が「住居」への支出を上回っていたが、平成15年以降は逆転した。「被服及び履物」は平成28年以降、低下傾向が続き、令和4年は2.8%で前年と同水準であった。一方、「住居」は令和元年以降、上昇傾向が続き、令和4年は7.2%で前年6.7%に比べ0.5ポイント増加した。

（※「住居」とは、家賃地代、設備修繕・維持を含む）

図3 鳥取市の消費支出に占める衣・食・住の割合の推移（二人以上の世帯）



3 鳥取市の直近3年間の平均（令和2年（2020年）～令和4年（2022年）） から見た二人以上の世帯における全国消費ランキング

家計調査では、調査世帯が購入した商品をすべて集計することにより、消費者の嗜好、どのような食品がよく購入されているのかが分かる。

ここでは、食料品について、鳥取市の1世帯当たり年間購入量又は購入金額が全国の47都道府県庁所在市及び5政令指定都市（川崎市、相模原市、浜松市、堺市、北九州市）で上位5位以内の品目を取り上げた。

【鳥取市が全国1位の品目】

- ・即席麺（カップ麺は除く）
- ・いわし
- ・かれい
- ・えび
- ・かに
- ・ちくわ
- ・合いびき肉
- ・卵
- ・梨
- ・すいか
- ・スナック菓子

【上記のうち前回から順位を上げて全国1位になった品目】

- ・えび（前回5位）
- ・合いびき肉（前回4位）
- ・すいか（前回2位）

【今回新たに上位5位以内に入った品目】

- ・かき（貝）（前回6位→今回3位）
- ・食用油（前回10位→今回5位）
- ・しょう油（前回6位→今回4位）
- ・キャンデー（前回7位→今回5位）
- ・チョコレート（前回6位→今回4位）

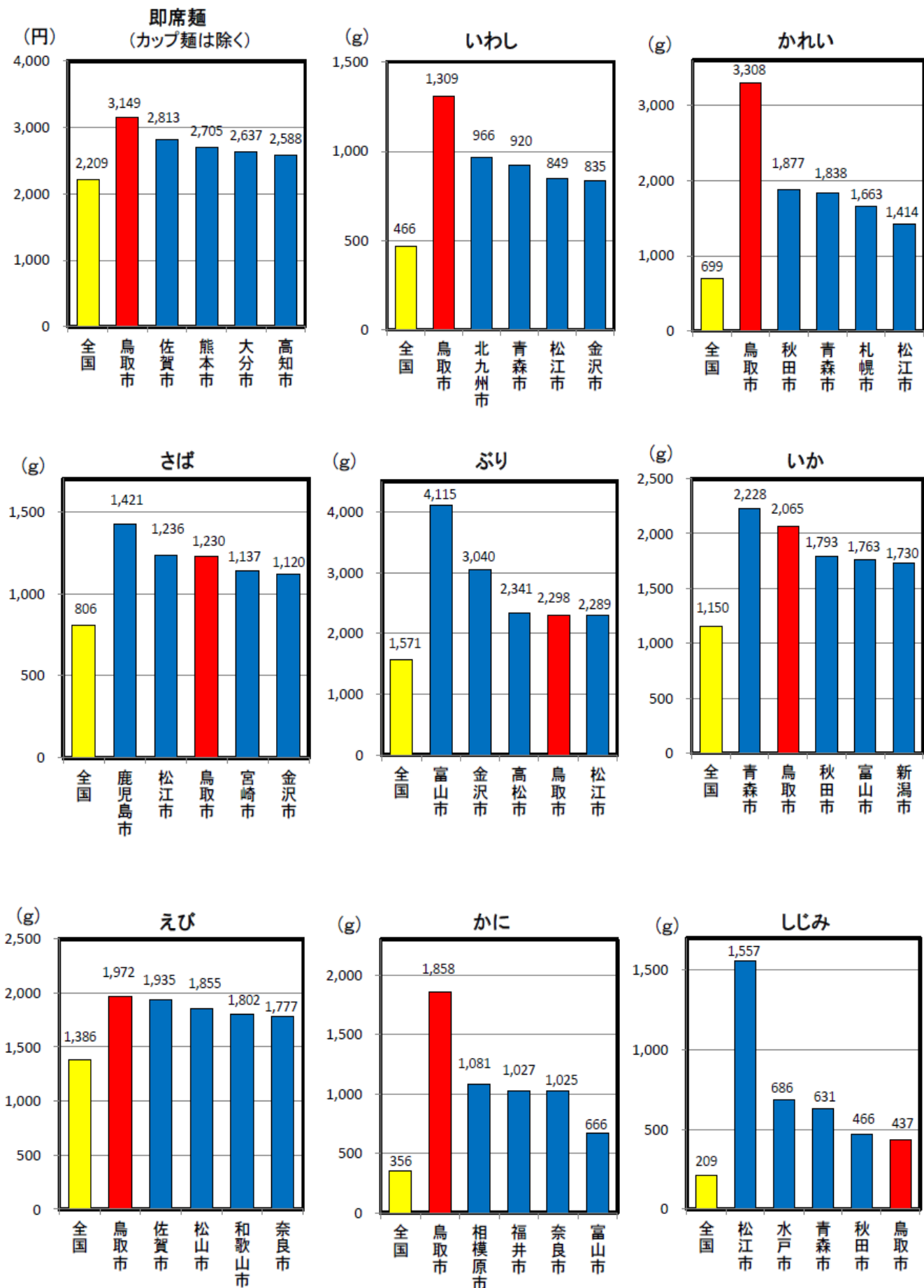
【（参考）前回の全国1位から順位が下がった品目】

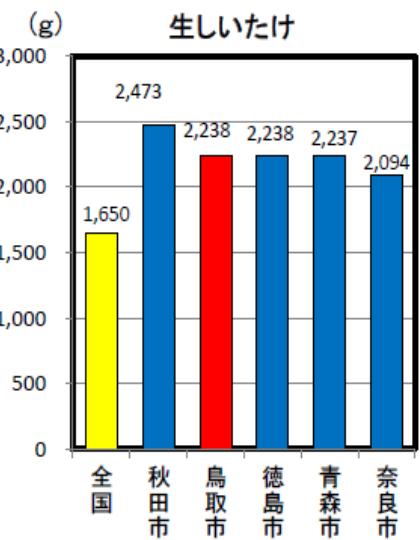
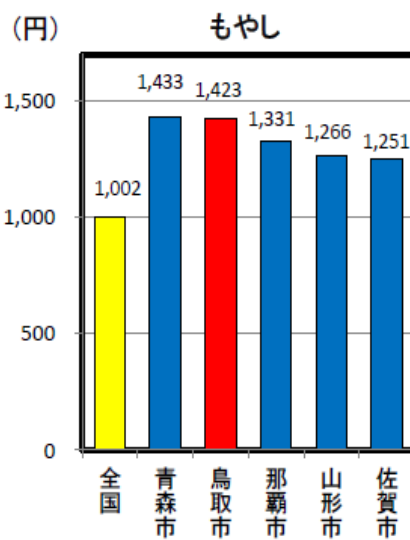
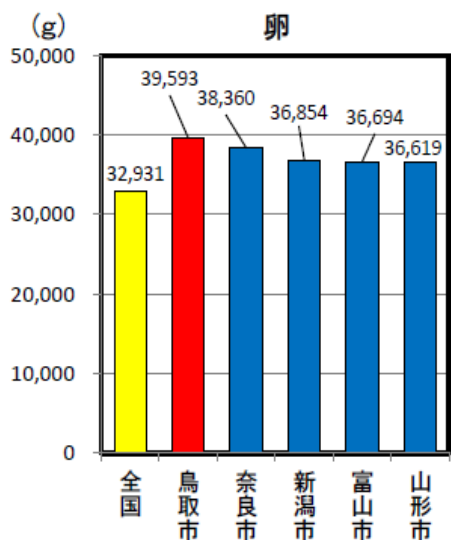
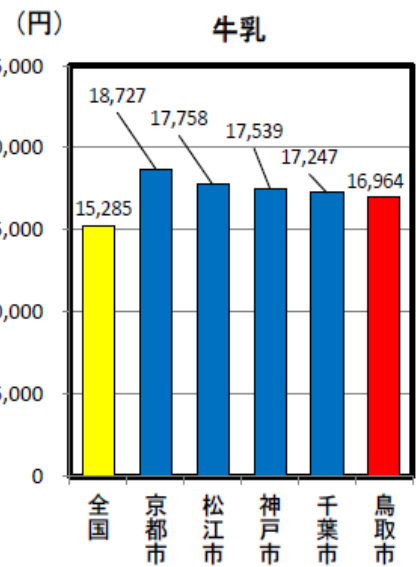
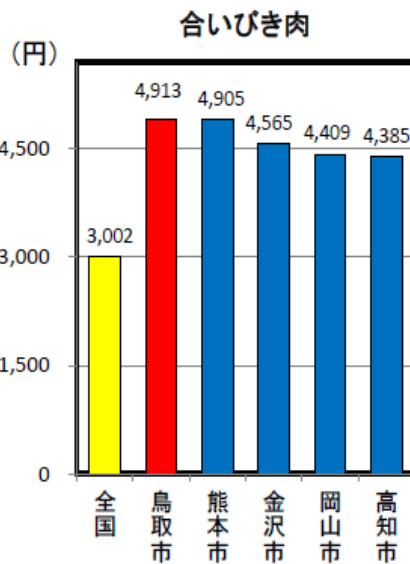
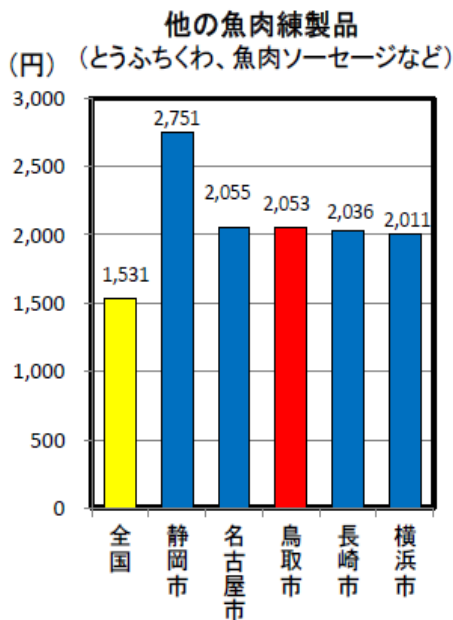
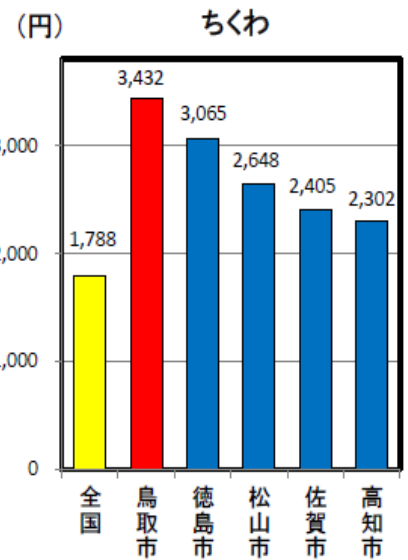
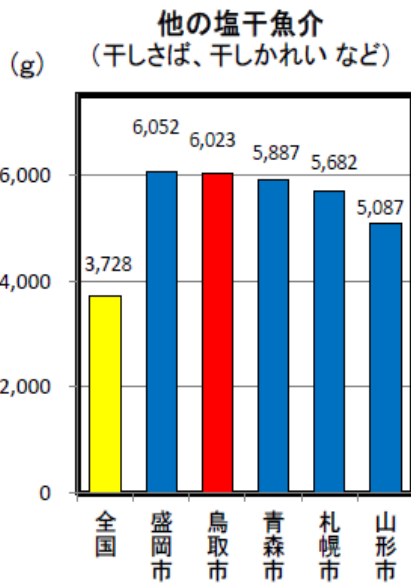
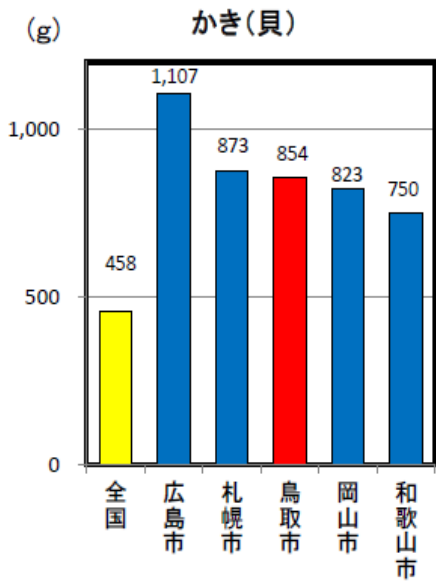
- ・牛乳（今回5位）
- ・もやし（今回2位）

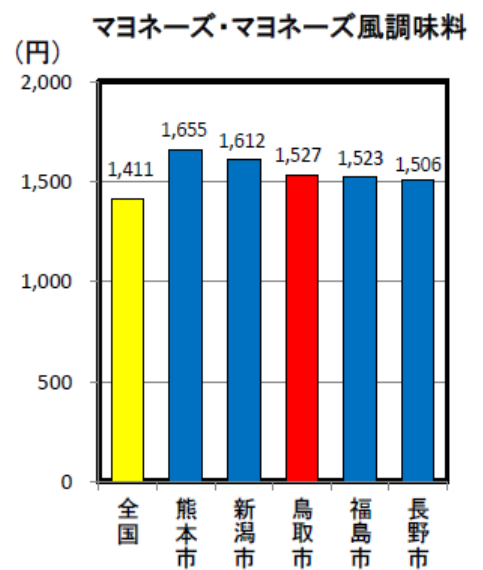
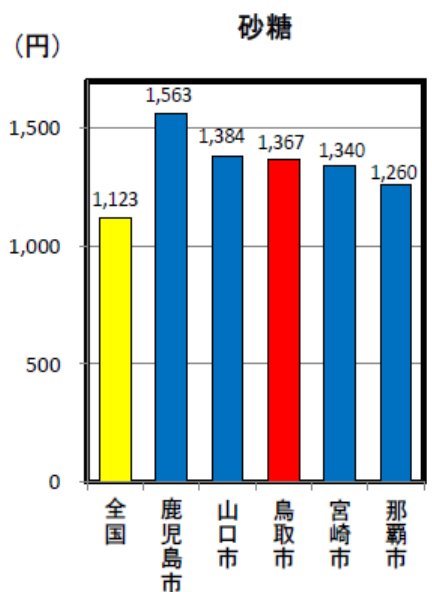
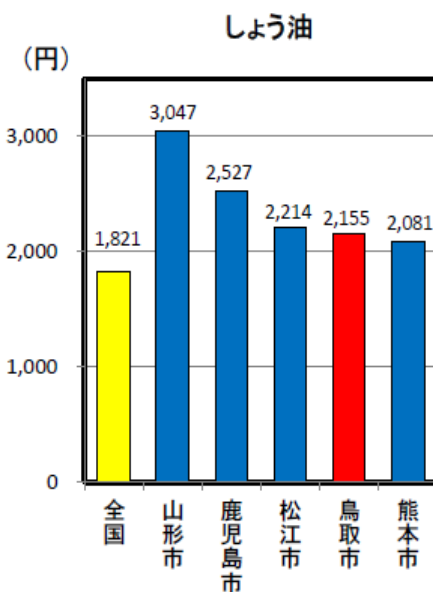
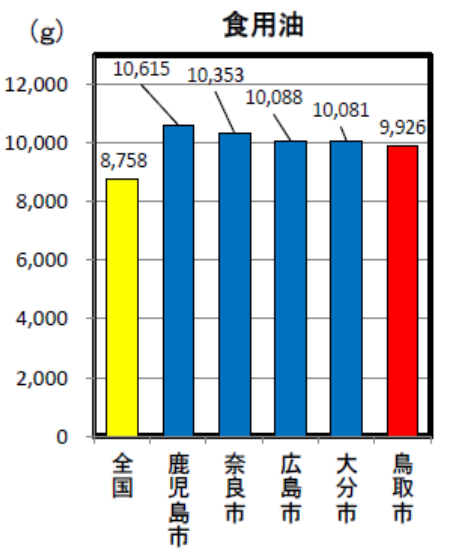
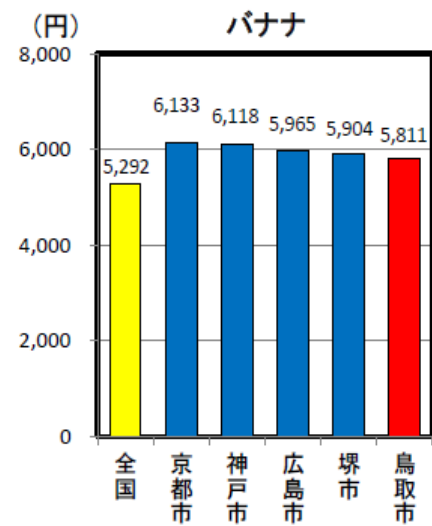
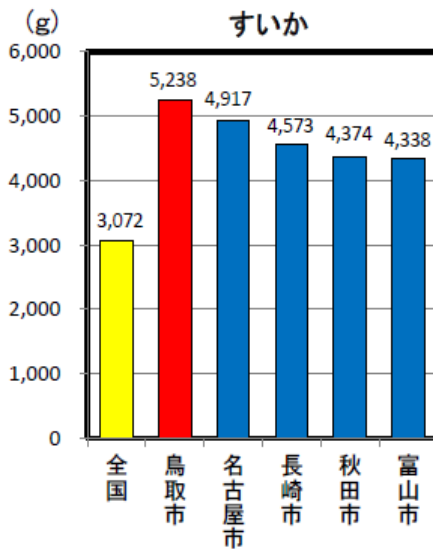
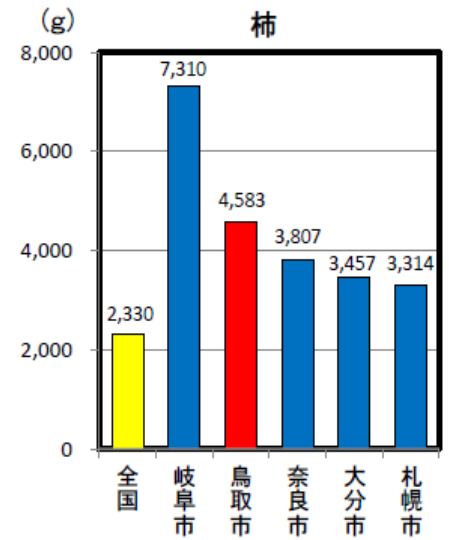
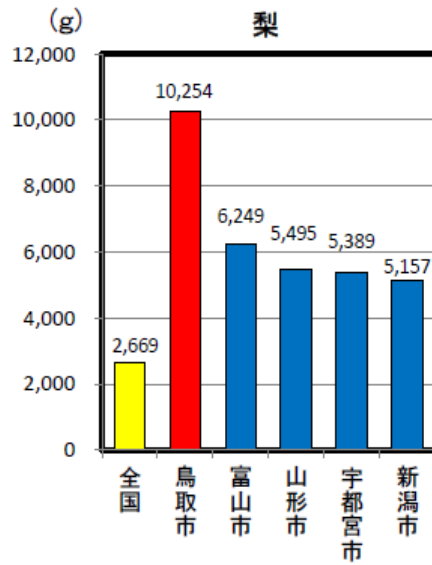
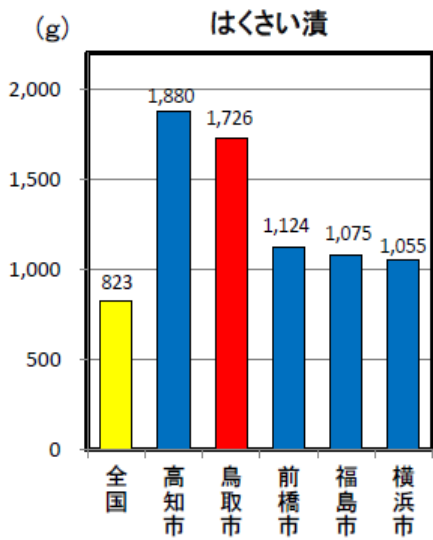
【（参考）前回の上位5位以内から今回外れたもの】

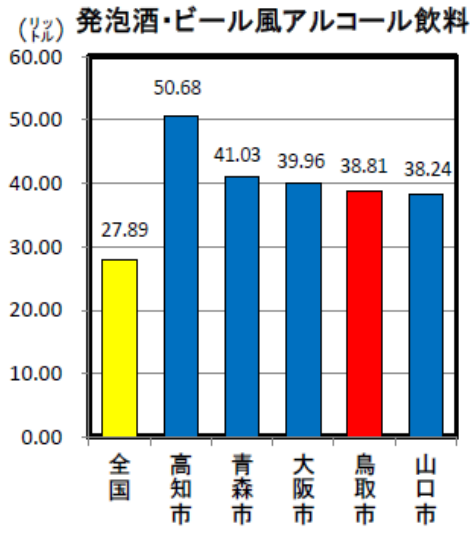
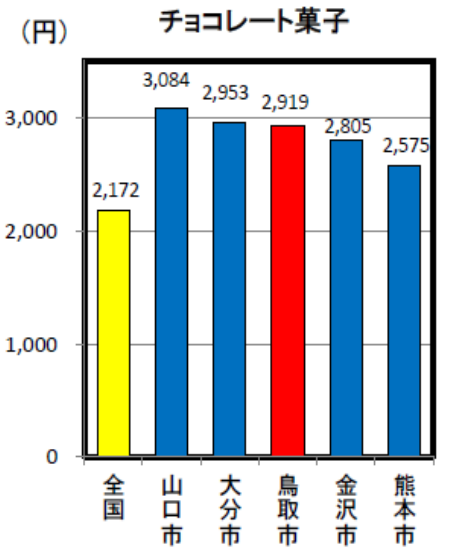
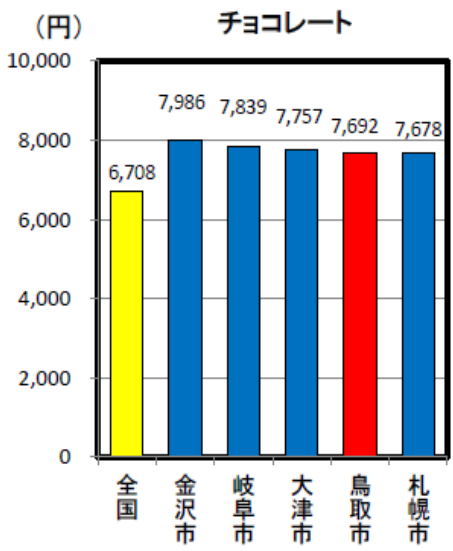
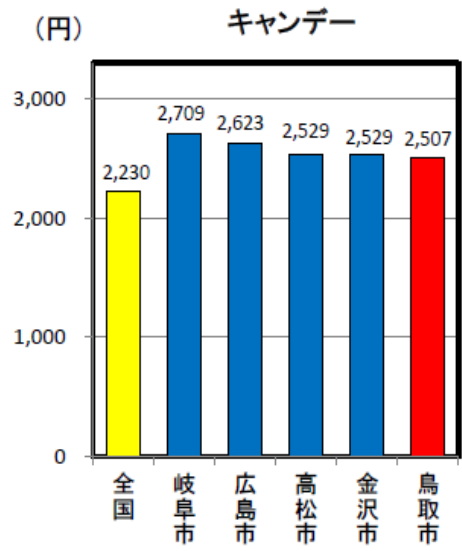
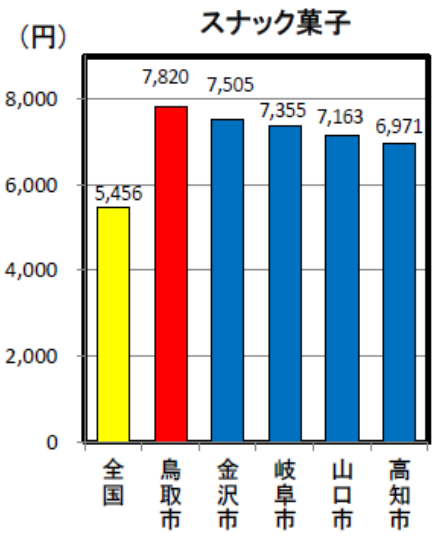
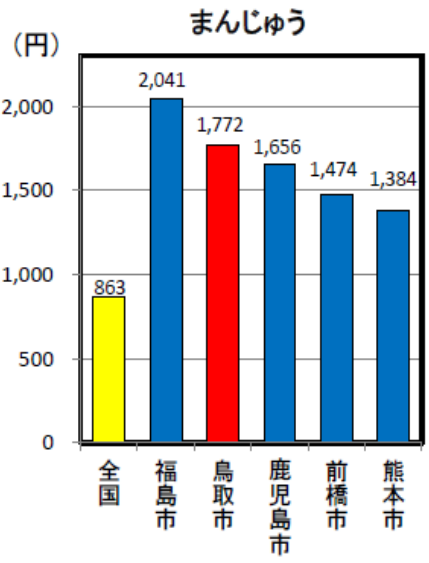
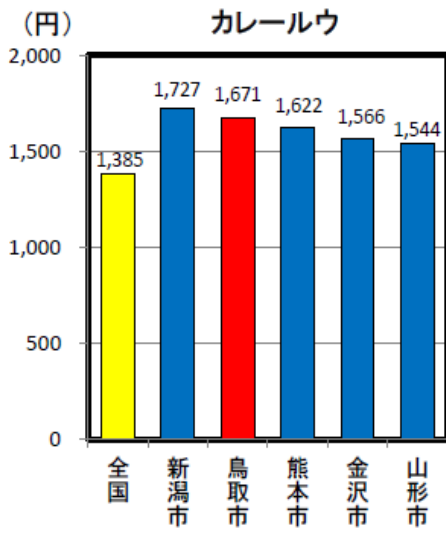
- ・食パン（前回3位→今回7位）
- ・他の鮮魚（前回5位→今回7位）
- ・豆腐（前回5位→今回8位）
- ・マーガリン（前回2位→今回10位）
- ・ケーキ（前回5位→今回7位）
- ・ビスケット（前回4位→今回18位）
- ・冷凍調理食品（前回3位→今回7位）
- ・コーヒー飲料（前回5位→今回6位）

図4 鳥取市の全国消費ランキング上位5位
 (令和2年(2020年)～令和4年(2022年)) (二人以上の世帯)









【問い合わせ先】

鳥取県令和新時代創造本部統計課 生活統計担当

電 話 : 0 8 5 7 - 2 6 - 7 1 0 6

ファクシミリ : 0 8 5 7 - 2 3 - 5 0 3 3

電子メール : toukei@pref.tottori.lg.jp

URL : <https://www.pref.tottori.lg.jp/fies/kakei/>